



ファシリテーションのある 教育の場を考えよう

－ 対話が生まれる学校へ－

今、学校現場にもファシリテーションが必要と言われています。
なぜ必要か、ファシリテーションってなに？
どうすればいい？ などなど小さな疑問も
一緒に考えていきましょう。

日時 2026年

7月31日 金

14:00～16:00 (受付 13:30～)

参加費

1,000円

※当日、会場にてお支払いください。

会場

ワラタネスクエア

岩手県北上市本通り2丁目3-38

※近隣の有料駐車場などをご利用ください

定員

20名程度

話しはじめの人たち



若杉 逸平

(わかすぎ いっぺい)

ファシリテーター/
社会教育士

名古屋市立の工業高校で18年間教鞭をとった後、個人事業「ひらけごま。」および「一般社団法人ひらけエデュケーション」を設立し、教職員研修や教育イベントなどで、対話の場づくりを実践している。また、愛知教育大学では非常勤講師としてキャリア教育などに携わる。

〈著書〉

『対話について対話しよう』ほんここ舎



工藤 美季

(くどう みき・みきてい)

ファシリテーター
& 教育コンサルタント
／ ホワイトボード・ミーティング® 認定講師

山形県公立小学校、特別支援学校教員として29年間勤務後、個人事業「tsunagu」設立。教員、企業、行政など広くファシリテーション研修を行っている。また、「一般社団法人terra」代表理事として子ども、保護者、学校サポートを行っている。

- ・山形大学教育学部非常勤講師
- ・NPO法人SchoolVoiceProject理事



後藤 誠子

(ごとう せいこ)

労働者協同組合
ワーカーズコープ・
センター事業団 北上
笑いのたね事業所 所長

次男の不登校ひきこもりをきっかけに自分にしかできないことがあると気づき、生きづらさを抱えた人たちと地域をつなぐ活動を始める。現在は不登校ひきこもりの親としての講演やコミュニティFMでの発信、様々なイベントの企画、誰でも来られる居場所『ワラタネスクエア』の運営などを行っている。当事者や親からの相談も随時受付けている。



子どもたちの主体性を引き出したい、対話を大切にしたい、職員室や保護者との関係をよりよくしたい。そんな思いがあっても「ファシリテーションって何?」「授業や学級運営でどう活かせるの?」「学校現場で本当に必要なの?」と感じている方も多いのではないのでしょうか。小さな疑問も大歓迎です。これからの教育の場づくりを、共に語り合いましょう。



お申し込み方法

右側の二次元コードまたは
下記URLからお申し込みください。

申込フォームURL

<https://hirakegoma018.peatix.com/>

申込締切: 2026年7月24日 (金)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。



お問い合わせ

☎ 0197-72-8160

✉ kitakami-waratane@roukyou.gr.jp

📍 岩手県北上市本通り2丁目3-38

🕒 開設日: 火曜日から土曜日 10時から17時

【主催】北上笑いのたね事業所

【後援】北上市教育委員会